

ボランティア情報誌 ら・ぼ・ら

令和 4年 7月号

発行 社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会

編集 あやせボランティアセンター

綾瀬市深谷中4-7-10 保健福祉プラザ

電話 70-3210 FAX 79-1812

E-mail ayase-vc@ayase-shakyo.or.jp

☆「らぼら」とは、ラボ（研究所）とボラ（ボランティア）をつなげた造語です。

団体ボランティア活動紹介



ひなたぼっこ



ひなたぼっこは、発達障がいがある子や発達が気になる子をもつ親の会です。

月一回の親同士のお話会を中心に心身のリラックスのためのワークショップや勉強会、講演会などの学びの機会もつくっています。発達障がい児の子育ては周囲になかなか理解してもらえないことが多く、親子で孤独になりがちです。辛いときに安心できる場で同じ経験をした仲間に話しをきいてもらえれば少し気持ちが楽になります。親の心が安定していると子どもは安心して育ていけると感じています。

講座のご案内(受講者募集)

音声訳ボランティア基礎講座



視覚障がい者の方へ文字情報を音声にして届ける技術を学習します。

日時: 令和4年9月6日から10月18日まで(全7回)毎週火曜日

10時から11時30分まで(第1、2、7回目は12時まで)

場所: 綾瀬市保健福祉プラザ 1階 会議室

定員: 20名(申込順)※申し込みは7月4日から9月5日まで

主催: 綾瀬市録音赤十字奉仕団コスモスの会

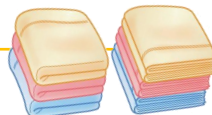
受講料: 700円(テキスト代・CD代金)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や延期になる場合があります。



毎週火曜・木曜日に活動に参加できる方を募集します

毛布の寄付受付終了について



登録ボランティア団体である「明社もみじの会」による、「アフリカへ毛布をおくる運動」の終了を受け、ボランティアセンターでの毛布の寄付受付を終了することとなりました。これまで多くの方々にご協力をいただき、誠

裏へ

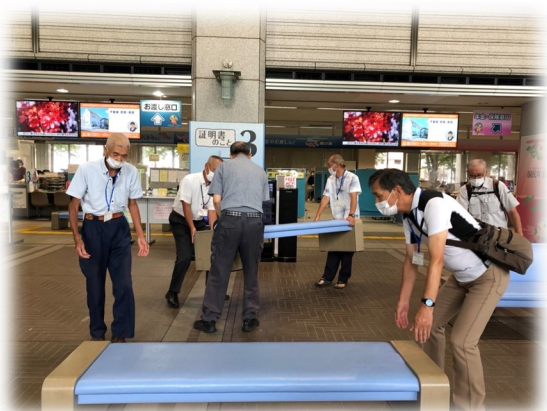
◎『明るい社会づくり運動「もみじの会」』より

寒暖差の激しいアフリカ諸国では、毛布は多くの方のいのちを守るとい
う大切な役割を担っております。昭和59(1984)年にアフリカで発生した大
干ばつ被害への支援をきっかけにはじまった本運動は、現在まで420万
枚を超える毛布をアフリカの人々にお渡しすることができました。これまで
携わっていただきました皆さま、思いを寄せてくださった皆さまに心よりお礼
申し上げます。ありがとうございました。

個人ボランティアさんの活動

市民ホールコンサートへの協力

コロナの影響で中止していた市民ホールコ
ンサートが、5月31日(火)から再開となりま
した。以前より協力いただいていた、個人ボ
ランティアの皆さまが集まり、手際よく準備と
撤収作業を行ってくれました。



早川住民交流館 (Kファーム)への協力

週に1~2回、農作
物の収穫、袋詰め
の協力をしていただ
いております。

“午後はみんなのサロン”参加者募集



◎今後の予定 9月14日(水) 14時から16時まで 綾瀬市保健福祉プラザ
11月9日(水) 14時から16時まで 綾瀬市保健福祉プラザ

- ①談笑コーナー : 日ごろのボランティア活動の話(嬉しかったことや悩みごと)を、みんなで話しませんか。ボランティアしてみたいけれど、実際どんな感じなのか、知りたい方も是非!
- ②脳トレコーナー : 漢字や計算で脳をトレーニング!
- ③囲碁・将棋コーナー : 囲碁や将棋を楽しめます! お仲間で連れ立って参加されてもよし、新たな出会いを求めて参加されるもよし!



※今後の開催については、2ヶ月に一度の開催に変更します。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や延期になる場合があります。